

質 問 通 告 一 覧

第4回島田市女性議会
平成29年7月30日

島 田 市

◎ 発言順位

	(頁)
1 番 高 野 由 美 さん (一問一答) -----	1
2 番 中 野 美 佳 さん (一問一答) -----	2
3 番 萩 下 恵 さん (一問一答) -----	3
4 番 大 池 真由美 さん (一問一答) -----	4
5 番 北 川 陽 菜 さん (一問一答) -----	5
6 番 加 藤 聖 菜 さん (一問一答) -----	6

1. 1番 高野 由美 さん (一問一答)

1. 総合スポーツセンターの指定管理及びプール運営について

総合スポーツセンターのプールは、水泳教室の指導者としても、また、国体出場経験のある1スイーマーとしても、利用するたびにその機能性や利便性が他の施設と比較して、大変優れていると感じているところです。

この整った施設環境において、子どもたちが優れた指導者の下、競技力の向上を図ることができれば、将来的には、長谷川純矢選手のようなオリンピック選手の誕生が大いに期待できると思っています。

市におかれましては、この素晴らしい施設の更なる有効活用についてご尽力をいただきたいと思います。そのためには、有効活用について実際に施設を利用している市民の声を十分に汲み取っていただければと願っています。

そのような思いを抱いている中、現在、多くの市の施設で指定管理者制度が導入されており、総合スポーツセンターにおいても導入されています。

民間のノウハウを活用することで、サービスの向上や経費節減などの効果が期待できることは理解していますが、指定管理者がどのように選ばれているのか、利用者の声がどのように施設の運営に反映されているかなど、利用者からは分かりにくいと感じることが多くあります。

今後、施設がより効果的に活用されることを期待し、次のとおり質問します。

- (1) 指定管理者は、どのようにして選んでいますか。
- (2) 指定管理者について評価を行っていますか。
- (3) 利用者の声をどのように施設の運営に反映していますか。

2. 2番 中野 美佳 さん (一問一答)

1. 島田市の子育ての現状について

現在、私は生命保険会社で、新人生涯設計デザイナーの教育や指導をするトレーナーという仕事をしています。

その為、若いお母さんにお会いする機会が多くあります。

子どもを育てながら働く女性、子どもを育てながら働きたい女性が多い現在、会社復帰する予定であるが、保育園に空きがない、育児休暇が一年あるが、子どもの一歳の誕生日からの復帰となり、4月からでなく年度の途中からの入園が可能であるかわからない…等、子育てに対する不安が多い事も事実のようです。

私も島田市で結婚、出産し、子どもを育てながら働いてきましたが、昔と今では環境も大きく変わりました。

安心して子どもを保育所に預け働く事が出来、安心して子どもを迎えに行ける、そんな島田市であれば嬉しく思います。

島田市としてどういった対策を立てているか伺います。

- (1) 現在、島田市では待機児童は何人いますか。
- (2) 幼稚園から認定こども園に変わると、受け入れる年齢や預かる時間はどのように変わりますか。
- (3) 認定こども園になるのはいつから、どこの幼稚園なのでしょう。
- (4) 兄弟で同じ園ではなく、受け入れが出来ない為に、違う園に通うという話も聞きますが、実際の把握は出来ていますか。

3. 3番 萩下 恵 さん (一問一答)

1. 放棄茶園対策について

近年、山間地において放棄茶園が増えており、今後も農家の高齢化により増加すると予想される。耕作放棄される茶園は、傾斜地、面積が狭い、作業車が入らない、地質が悪いなど条件が悪く、次の作り手を捜すのが困難な状況である。

そこで、以下質問する。

- (1) 島田市内の現状と対策は、どうなっているのか。
- (2) 他作物への転換や茶草場としての利用できるように、面積の狭い畑でも茶樹の伐根などの補助は出来ないか。
- (3) 茶園の次の作り手を探せない人や他の方法がわからない人がいる。農業支援は市だけでなく県、国でも補助金等を出しているが、それぞれ窓口が違い、助成対象の事業でも申請を見逃す場合がある。子育てコンシェルジュのように総合的に相談できる窓口は作れないか。

2. 川根地区の若者向け住宅について

川根地区には、売り地が少なく、子育て世代型住宅を退去した世帯が、次のステップである定住のための新住居を同地区に建てられない状態となっている。このままでは、川根地区に家を建てたい世帯が他の地区に引っ越してしまう。

- (1) 現在の状況、これまでの実績はいかがか。
どれくらいの世帯が住み、川根に定住、または引っ越したか。
- (2) 川根地区には売り家や売り土地が少ない。身成の新住宅地のように、新しい住宅用地を作ることはできないか。

4. 4番 大池 真由美 さん (一問一答)

1. 障がい者に対する支援体制について

主に自宅から日中の通所施設に通っている方を想定しています。社会福祉法人・親の会などが作ってきた様々な流れがあるため施設ごとに特徴がある。その特徴を活かしながら、一定水準の障害福祉サービスを確保するための現状についてお聞きしたい。

- (1) 働く場である就労継続支援事業A型、就労継続支援事業B型、常時介護を行う生活介護事業、一般企業への就労希望者に対する訓練等を行う就労移行支援事業について、島田市内のそれぞれの施設数と島田市の設定するサービス量の計画値及びそれに対する島田市民の利用者数を教えていただきたい。
- (2) 高齢者に対する支援は、ケアマネジャーが中心となり、その他の支援者と連携して介護サービス計画を作成している。

障がい者の日常生活を支えるための支援体制はどうなっているか。また、サービス等利用計画作成の進捗状況はどうか。

2. 観光資源や中山間地の地域おこしとしての在来作物の活用について

静岡県内でも200種類くらいの在来作物が確認されている。しかし、流通に乗らないため、農家の自家用に作られているだけで、人知れず失われており、遺伝資源が失われている。

そこで、以下質問する。

- (1) 島田市内の在来作物について、どのくらいあるのか市は把握しているか。
- (2) 静岡市では、中山間地に残る作物を地域おこしや観光に結び付けており、静岡大学 稲垣教授を中心とした「プロジェクトZ」という在来作物振興の取り組みもある。これらを参考に、複数の部署が連携して取組み、在来作物の保護継承に取り組むことを提案するが、どう考えるか。

5. 5番 北川 陽菜 さん (一問一答)

1. 島田市のコミュニティバスの現状と今後について

私は、普段の生活でバスが使いにくいと感じています。私の家の近くには、バス停はありますが、登校する時間に丁度いいバスがありません。そのため、登下校は祖母の車で送迎してもらっています。また、友人が初倉に住んでいるのですが、バス停が近くになく困っています。

現在、バスの本数やバスが通っている所が少なく幅広い世代の人たちが移動手段に困っていると思います。バスの現状とバスの今後について、とても気になります。

そこで、島田市のコミュニティバスについて、以下のとおり質問いたします。

- (1) 現在のバスの利用状況、利用率について。
- (2) バス停の間隔はどうなのか。
- (3) バスの本数を増やす予定はあるのか。

6. 6番 加藤 聖菜 さん (一問一答)

1. 防犯の安全、管理について

私は、中学生、高校生の時に、暗い夜道で不審者に遭遇し、怖い思いをしたことがあります。また、中学生の頃に先輩が不審者にあったことも聞きました。このように不審者に遭うことは身近でもよくあることです。今でもたびたび不審者の情報などを聞きます。市内にはいくつも小、中学校があつて、学生も多いが、どのような安全対策を行っているかお聞きします。

(1) 治安維持・改善のために、今どんなことをしているか。